

(医) 美崎会 国分中央病院の 院内感染対策防止への取り組み

院内感染防止対策の必要性

病院内には、免疫力の低下した患者さんや、高齢者などの感染の影響を受けやすい患者さんが多くいらっしゃいます。

このような患者さんが、病院内で新たに感染症に罹患しないよう、また病院内で伝播・拡散しないよう防止する必要があります。

当院では、患者さん及び病院職員に安全で快適な医療環境を提供するため、積極的に院内感染防止に取り組んでいます。

(医) 美崎会 国分中央病院の取り組み

当院では、院内感染防止対策委員会を設置しております。

院内感染の発生状況の報告や対策立案のため会議を毎回開催しております。

また、実際に活動を行う感染対策チームを組織し、院内ラウンドを行い感染防止対策に日々取り組んでいます。

感染防止対策委員会の取り組み

1. 院内感染予防のための院内パトロールと問題点に対する対策の立案
2. 病院内時感染マニュアルの作成と更新
3. 病原菌及び抗菌薬の使用状況についての情報の収集と分析
4. 院内感染・アウトブレイクが発生した場合の情報収集・緊急対策
5. 針刺し・血液体液曝露事故の状況把握とその対策
6. 院内感染予防に必要な衛星管理と教育

(医) 美崎会 国分中央病院
感染対策防止委員会

Medical Corporation Misakikai
kokubu central hospital